

思いやりの大切さ

国頭村立安波小5年 森岡 花香

私たちは11月に本部町立瀬底小、国頭村立安波小と一緒に宮古の池間島に離島体験に行きました。3日間、他校の児童と過ごして思いやりの良さに気付くことができました。

瀬底小の児童とは、今回「遊ぼう」と声をかける

と、笑顔で受け入れてくれました。相手の思いやりを感じ、相手の良さをまねて、「私も気配りできる人になりたい」という気持ちが強くなりました。

2日目からは、友だちを見習って、順番待ちでは、「先に行つていいよ」と自然にいえるようになりました。この一言をいえたのは

相手が気配りしてくれたことを、「次は私が返したい」という気持ちが強くなったからだと思います。

3日目には、みんながみんなを見習い、自然とゆずり合うことが増えて、みんな協力することができました。

私は瀬底小、安波小の児童と交流して、相手からの思いやりをもらって、思いやりの大切さに気付けたので、次は自分がたくさんの人に思いやりの良さを伝えていきたいと思えます。